



Of Words : 10 Years Since FUKUSHIMA

ツインギャラリー蔵企画

『ことばのまわり』

―10年目を歩く―

乾久子刊行記念展

―女寅さんと旅をする― 2011年3月11日14時46分、東日本大震災発生。間近に控えた個展を前に一人の作家は途方に暮れていた。何をすればいいのか分からなくなったという。翌日から一本の鉛筆と新聞を手に取り黒く塗り潰し始めた―。

10年後のその日、彼女の姿は常磐線の車内にあった。あのドローイングの意味は何だったのか、今の福島を歩きながら考えたいと旅に出た初日、不思議な出来事に遭遇する。偶然と必然。静寂と祈り。「女寅さん、10年目を歩く」旅が始まったのだ。静岡と福島を数ヶ月間にわたり、何度も行き来し様々な場所を巡った。カメラとスケッチブックと、あの日に始まった問いを携えて。

浜松市在住の美術家乾久子が、自身に問いかけ、考え続けるために歩いた福島の旅の記録「ことばのまわり10年目を歩く」の刊行記念展を開催します。本書収録作品に加え、当時の新聞を使った新作やアーカイブのほかワークショップ参加者をつくる「2011・4・12〜2012・3・11」までの新聞を用いた「その日の器」を展示します。

◎後援：浜松市、中日新聞東海本社、公益財団法人浜松市文化振興財団

会期：2025年3月8日(土)～23日(日) 11:00～17:00 (無休) 会場：ツインギャラリー蔵

—ここは誰かにとって大切な、けれども失われた場所であり、私にとってのあの場所かもしれない—

ページをめくるごとに、乾氏扮する女寅さんの隣に立ち、共に景色を見つめる私がいることに気がつきます。被災当事者でない作家の言葉は、同じく当事者足り得ない私の目となり、耳となり、足となり、震災報道からこぼれ落ちるなにか... 人の、人々の営みをすくいあげる

一筋の筆致へと変わります。10年目の福島を歩いた作家と共にページをめくるように旅すること。本展が、3.11という日付が意味するものを考え続けるための杖となり、そして「明日と泳ぐ」旅へと繋がり、皆さまの歩みと重なりますように。企画：ツインギャラリー蔵 空閑 美帆

【関連イベント】

トークイベント 津田大介×乾久子 遠くだからみえるもの ～ジャーナリストの目、アーティストの目～

震災直後から今も継続し被災地取材するジャーナリスト津田大介と、美術家 乾久子のトークイベント。報道と美術、それぞれの視点から見てきた風景の交差点から、私たちが出来ること・始められることを考えたい。

◎日時：3月20日(木・祝) 18:00～20:00

◎参加費：¥2,500(先着40名)

■津田大介プロフィール

ジャーナリスト/メディア・アクティビスト。
メディアとジャーナリズム、テクノロジーと社会、表現の自由とネット上の人権侵害、地域課題解決と行政の文化事業、著作権とコンテンツビジネスなどを専門分野として執筆・取材活動を行う。



申込：QRまたはTEL



【その日の器をつくる】

あなたにとって、大きな意味をもつ日付はいつですか？ 皆さんに日付を選んでもらい(2011/4/12～2012/3/18)の新聞を用い、「その日の器」を作り、本展にて展示します。

◎日時：2月8日(土)・22日(土)

10:00～12:00・13:30～15:30 ※日時を選択ください。

◎参加費：¥500



申込：QR
またはTEL

【会場内販売】

出会った人たちや見てきた風景がたくさんのことを教えてくださいました。この本で私と一緒に福島への小さな旅をしていただけたらこんなに嬉しいことはありません(本書 はじめに より)

◎書名：ことばのまわり—10年目を歩く

◎著者：乾久子

◎定価：¥2,000 + 税10%

◎発行：スタジオ NANI

◎発売：有限会社 荒蝦夷



乾久子プロフィール

美術家。1958年静岡県生まれ。東京学芸大学大学院修士課程修了。2007年 Das Erlebnis der Linien (ギャラリー Meta Weber/ドイツ)、2021年「ことばのまわり ～船とゆく～」(グランシップ/静岡)など、国内外での個展・グループ展多数。2011年ギャラリーK(東京)で東日本大震災をテーマにした作品「毎日折ったこと・考えたこと」を発表。同作品は第二回津漆の芸術祭(2011年/福島県喜多方市)、小田原、静岡、ベルリン、東京都美術館などでも展示される。



HP



【その日、どこで何をしていましたか？】

14年前の2011.3.11、その日のことを覚えていますか？ どこで何をしていたのか。うろ覚えでも、些細でも、一人一人のその日の物語を伝え合ってみませんか？

◎日時：3月8日(土) 17:00～19:00

3月11日(火) 14:00～16:00

◎参加費：¥500(福島銘菓付き)



申込：QR
またはTEL

【ときたま書房 vol.1】

昨年に引き続き、県西部を拠点にオルタナティブな活動をする二つの書店にご協力頂き“ときたま書房”を週末限定OPEN。刊行本に合わせ両店主選りすぐりの書籍を販売。

・3月8日(土)～9日(日)：Favorite books L

・3月15日(土)～16日(日)：books cicalata

・3月20日(木)：上記2店合同

【Night gallery】

暗闇の中で光源を自ら手に取り作品を鑑賞します。通常とは異なる方法で鑑賞することで、よりじっくり作品と向き合う時間をお楽しみ頂けます。

◎日時：3月15日(土)・22日(土) 18:00～21:00 (予約不要)

ツインギャラリー蔵

静岡県浜松市中央区入野町1104

無料駐車場あり(約30台、他店と共同)

JR浜松駅よりバス20分(遠鉄バス20番線 入野行「東彦尾」下車、徒歩南すぐ)

TEL 053-447-1038 MAIL twinkura.1997@gmail.com



HP